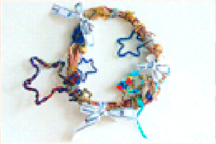
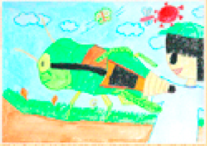
NIE特集
Newspaper In Education
毎月第2・4火曜日発行

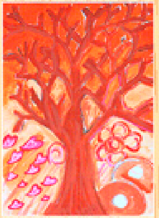
六郷小

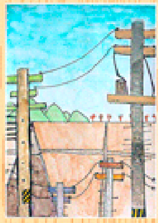
学校名　仙台市立六郷小学校
所在地　仙台市若林区六郷11の11
電　話　022（289）2157
校　長　伊深　正文
児　童　709人

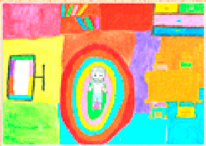
うきうきキャンバス

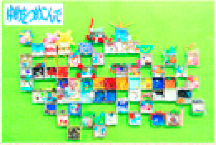

あさがおのリース
１年・藤村颯大


イナゴとわたし
２年・千葉菜由


夕焼けの中の木　５年・菊地莉緒


冬のくもり空　６年・村上一平


にじ色の部屋
４年・小柳水瑞希



ゆめをつめこんで
３年１組共同作品

鎌倉時代の武士築く

今泉城の歴史を探れ！

知り隊

政宗の家臣も拠点に

わたしたちは6年生になり、歴史の学習をしました。その中に安土城や江戸城など有名なお城が出てきます。六郷小では校内の廊下に展示ケースが置かれ、地元の今泉城跡の資料もあります。このお城はいつ、だれが、何のために建てたのか。殿様はいたのだろうか。次々と疑問がわいてきました。そこで仙台市博物館市史編さん担当の菅野正道さんにお話をうかがいました。

仙台の南東部にある六郷地区では、弥生時代から人々が稲作をし、村を作って生活していました。今泉城跡は六郷小から南西の住宅街にあります。現在の住所は今泉二丁目です。

「今から800年ぐらい前、源頼朝が平泉の藤原氏を滅ぼした後の鎌倉時代に、関東からやって来た武士がここに住んだのだろう」と、菅野さんが説明してくれました。武士の名前はわかりませんが、その屋敷跡が、今泉城の始まりと考えられています。

お城というと、広くて5階建てなどの大きいものを想像しますが、今泉城は天守閣などはなく、1階建てで、土台石を使わずに地面に穴を掘って柱を立てました。屋根は板やかやぶきでできていました。幅6～8㍍、深さ2㍍の外堀が張りめぐらされ、内堀も発掘調査で発見されています。

「弓矢を武器にしていた時代なので、城の外から矢を飛ばそうとしても、堀の幅が広いのでそれほど届かなかった」そうです。だから、お城はそんなに大きくなくてもよかったのです。

それから400年後、江戸時代の初めに、伊達政宗の家臣で須田玄蕃という人が住んでいたという記録が伊達家の資料に残されています。「年貢の徴収をしたり、合戦に出た中級の武士だった」と言います。その後、お城は廃止になり、内部はお百姓さんの屋敷や畑に、堀は田んぼとして使われました。

今泉城跡は、今は外堀に添って道路（一部）ができているそうですが、お城があったという名残は、ほかに何もありません。

◇　◇

菅野さんにお話をうかがって、仙台にこのようなお城が70以上もあったことを知りました。そしてわたしたちの住む六郷には、鎌倉時代から400年も続いたお城があったことに驚きました。地元にも、まだ分からない歴史がたくさんあります。これから何が発見されるか楽しみにしていきます。

文・松縄真帆、武田光、佐藤ゆりあ、大友瑞希（6年）

今泉城跡外堀付近を歩き、菅野さん（左）に取材する

言い隊

■ 政党分けず良い国を ■

今、日本は与党と野党に分かれて政治が行われています。先日も選挙がありましたが、ぼくの身近な人たちがどの政党に入れるのか迷っているのを見て、ぼくは政党に分ける必要はないと思いました。なぜかというと、どの政党にも良いところもあれば悪いところもあるからです。その政党同士が一つになれば、きっと良い国を作れると思います。時には対立することもあると思いますが、だからといって決裂するのは、間違っていると思います。昔はこんなことを言う小学生はいなかったと思いますが、これからは小学生でも日本の政治について積極的に考えていくことは大切だと思います。

（6年・平間圭明）

■ ごみポイ捨てやめて ■

みなさんは家の近くや学校に行く途中の路上に、たばこの吸い殻が落ちているのに気がついたことがあると思います。ぼくは、家の近くを散歩したり、学校に行ったりする時によく見かけます。みんなが使う道路なのに、とても残念な気持ちになります。

なぜ大人は「ごみはごみ箱に捨てましょう」と言っているのに、路上にごみを捨てるのでしょうか？　ごみを捨てる人がいれば、みんなのために拾う人もいます。一人一人がもっとごみの始末に気をつければ、きれいな町がいつまでも続くと思います。ごみのないきれいな町になるといいと思います。

（6年・板橋朋也）

教え隊　若あゆ祭

学校田のコメに感謝

10月17日に行われた若あゆ祭のもちつき

六郷小には、30年以上続く「若あゆ祭」という伝統行事があります。児童会の名前が「若あゆ児童会」で、5年生が学校田で育てた米に感謝するお祭りです。

校庭を会場に、収穫した米はお祭りの開会式でつき、PTAの方がきなこもちにしてくれます。3年生から6年生はクラスごとにアイデアを出し合いお店を開き、みんなで楽しく遊びます。

お祭りが終わった後、全校児童でそのもちを食べます。味は格別です。若あゆ祭はお米の大切さを知ってもらうよい機会なので、これからも続けていってほしいと思います。

文・野口芽衣、三上悠太（6年）

編集後記

ぼくたちは、六郷小の記事が、河北新報の「どきどき小学生」にのることを知って、うれしく思いました。なぜなら、ぼくたちの記事をたくさんの人に読んでもらえるからです。

計画委員と新聞委員が担当することになりました。しめ切り間近にインフルエンザが流行し、なかなか作業が進まなくなり、大変でした。

今泉城跡を取材して、六郷の地にお城があったことを知り、この土地は立派な所だったと思いました。多くの人に今泉城を知ってもらいたいと思います。

（6年）

〈編集委員〉木村真清、加藤奈々、板橋朋也、佐藤ゆりあ、武田光、松縄真帆、森岡紗奈、庄司龍世、佐藤未歩、平間圭明、大友瑞希、野口芽衣、三上悠太、加藤祐（6年）
題字デザイン　寺嶋朝香（6年）
〈指導教諭〉百足朱美、桜井智雄

次回（１月12日）は片平丁小（仙台市）と女川四小（宮城県女川町）です。